

2号特定技能外国人に求められる実務経験に係る申告書

出入国在留管理庁長官 殿

申請者

氏名

性別

国籍・地域

生年月日

建設分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針に規定する2号特定技能外国人に求められる実務経験については下記のとおりです。

記

○建設キャリアアップシステムの技能者情報に必要な実務経験が蓄積されている場合

① 申請する業務区分に対応する職種	
② ①で選択した職種の建設キャリアアップシステムの技能者情報に基づく就業日数(職長+班長)	
③ ①で選択した職種の建設キャリアアップシステムの技能者情報に基づく就業履歴数(職長+班長)	

(注意)

- 1 2号特定技能外国人の業務区分に対応する建設キャリアアップシステムの能力評価基準のある職種及び各職種に必要な就業日数と就業履歴数、下記2、3で求めている就業日数（職長及び班長や就業履歴数（職長及び班長））がわかる表示画面の写しや経歴証明書については国土交通省ホームページをご確認ください。また、能力評価基準のある職種の内、代表的な職種における業務区分の対応については、分野別運用要領別冊の「第2 特定技能外国人が有すべき技能水準」を参照ください。

https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/tochi_fudousan_kensetsugyo_tk3_000001_00003.html

- 2 ②が実務経験に必要な就業日数以上（記載例：1年（215日）以上）であること及び③が実務経験に必要な就業履歴以上であることを確認して記載すること。また、②及び③については同システムにおける表示画面の写しを添付すること。

○建設キャリアアップシステムの技能者情報に必要な実務経験が蓄積されていない場合

④ ①で選択した職種の経歴証明書に基づく就業日数(職長+班長)	
⑤ ①で選択した職種の経歴証明書に基づく就業履歴数(職長+班長)	

(注意)

- 3 ②と④の合計が実務経験に必要な就業日数以上であること及び③と⑤の合計が実務経験に必要な就業履歴数以上であることを確認して記載すること。また、②及び③については同システムにおける表示画面の写しを添付し、④及び⑤については別紙経歴証明書を添付すること。

別紙

年 月 日

経歴証明書

出入国在留管理庁長官 殿

証明者

事業者名

役職名

氏名

建設キャリアアップシステム事業者 ID

下記に示す申請者の建設分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針に規定する2号特定技能外国人に求められる実務経験のうち、建設キャリアアップシステムに蓄積されていない就業日数については下記のとおりです。

記

(1) 申請者

フリガナ	
氏名	
建設キャリアアップシステム技能者 ID	
申請する業務区分に対応する職種	

(2) 職長又は班長としての就業日数及び就業履歴数

	就業期間	就業日数	就業履歴数
①	年 月 日～ 年 月 日	日	
②	年 月 日～ 年 月 日	日	
③	年 月 日～ 年 月 日	日	
	合計	日	

※必要に応じ行を追加すること。

※転職や離職などによって職長、班長として就労していない期間がある場合は、就労していた期間ごとに入力すること。

誓約欄

この証明事項に事実と相違がある場合には、在留資格が取り消されても異存の無いことを誓約いたします。

申請者氏名 _____